

わたしたちの町

人口 (男) …4,576人
(女) …4,909人
合計 …9,485人
7月中の転入 …20人
転出 …16人
世帯数 …2,315世帯数

(58年7月末住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和58年8月25日 第303号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月20日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

'83/8月

303号

平安の祈りをこめて
川面に映るたいまつ



ふるさと祭りを共催

ふるさと祭りの会場で、しめやかに始まった読経の中から、たいまつが阿仁川に運ばれ、次々と炎がのびていく。一家で一つづつ作られた「ダンボ」の火が水平に二キロ延び、川面を照らす。部落の数を示す車マトビが回され、くつきりと「マトビ」の文字がうかびあがる。家々の平安と、町の発展を祈る祖先の霊への合掌。ふるさとでのお盆を祝う人たちが目につく。多くの参観者を集めて、今年も八月十四日、合川マトビが灯りました。マトビとあわせて、青年会が中心になって開く「ふるさと祭り」は第三回目。駒踊り、獅子舞、子供太鼓の伝統芸能とともに踊りの輪が大きく広がりました。午前中からの準備作業で汗まみれになってがんばった中学生たち。暑い思い出を確かめるように、マトビの炎を見つめていました。

第12回合川マトビ

町民健康広場に喜び集う

八月八日

町民体育館が竣工

待望の町民体育館が完成し、八月八日、竣工式典が行われました。二カ年継続事業で総工費は四億八千九百三十三万六千円。同じ敷地内の各施設とあわせて、町づくりの拠点になるデューカ施設群が完成しました。式典では、町内児童生徒七百五十名が交響曲「大いなる秋田」を演奏。来賓はじめ参列者全員が合唱に加わり、町づくりの新たな一ページを祝いました。

総合施設を

町民健康広場

と命名

工事報告から

地域の大きな期待を担って、社会体育施設整備事業による町立合川町民体育館が竣工の運びとなりました。本町では昭和五十二年以来、保健福祉の町づくりを進め、心と体の健康を柱に町民運動を展開してきました。その一環として、李信字下豊田の一角に三万七千ヘクタールの用地を確保し、昨年三月に保健センター、六月に農村環境改善センター、そして十二月に国民健康保険診療所、総合駐車場などを整備。団地の総仕上げとして町民体育館の建設を進めてきたものです。

親と子、若者と高齢者が、健康な人と病める人などが、交流を深めながら一連の目標に向けて飛躍できるコミュニティを構築する。これがこの団地への願いです。団地の名称は、公募によって「町民健康広場」と決まりました。交流、研修、体力づくりの広場として、末長く広く多目的に利用されることになりました。

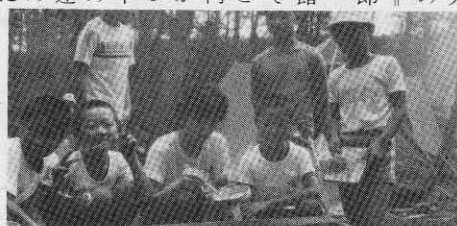
これらの構想は町議会では全面的な賛意によって昭和五十二年三月定例会で合川町民体育館建設基金条例が可決され、計画的に財源を積み立て、準備をすすめてきました。

構造	鉄筋コンクリート造2階建、一部鉄骨造
面積	2,225.492平方メートル (1階 1,772.863㎡、2階 502.629㎡)
事業費	(57年度 133,300,000円) (58年度 275,636,000円)
設備	ステージ、体育館 1,080㎡ (36m×30m) バスケットボールコート2面、バレーボールコート2面、バドミントンコート6面、テニスコート1面、移動式鉄棒、固定式鉄棒、電光得点表示装置(移動式)2台、談話ホール、更衣室、身障者専用便所、放送室、観覧席414席
その他	ゲートボールコート1面、駐車場300台、町民相撲場

施設概要

二期

夏休みが終わった子どもたち。今年はどうな思い出ができましたか？
八月十一日の町子どもキャンプでは、炊事準備前に強い雨が降り、燃えない木にも苦労したとのことです。「メッコンマ」の味も忘れられないものの一つでしょう。
二期に入り、「一年生をはじめ、新しく編成されたクラスでは、いよいよまとまりができ、学習面でも各学年の「ヤマ場」。同時に学芸会、文化祭といった催しが学期の中心にあり、「表現活動」が大きなウエイトをしめるのが二期の特徴です。町教育研究所福岡龍太郎先生
八月八日の町民体育館竣工式の数日前から、それまでの冷夏をとりもどすような暑さの毎日。阿仁川小阿仁川は、遠方からのつり客でにぎわいました。町産業文化祭は十一月十二日から。作物の総りと「心の総り」を運ぶ出来秋を祈りたいものです(写真：楽しかった少年キャンプ)



町長日記から

ぐずついていた梅雨もあがって連日三十度の暑さがつづく。稲は、この日照りのもとで結果をいそぐ。農家の人々も、やうと愁眉(しゆうび)をひらいて、薬剤散布、水のかけひきに精を出す。まさに盛夏である。
今年のお盆も、ふるさと祭り、合川万灯火にはじまって、久しぶりに帰省した人々とともにふるさとを満喫することとなる。
町は津波殉難以来、悲しみに沈んでいたが町民体育館の竣工から、急に活力を取りもどしつつある。
特に記念行事の小・中・高校の連合の「大いなる秋田」七百五十人の大合奏、大合唱は、町民はもちろん、

(義)

750名の大交響楽 新町民体育館 竣工の歌声高らかに 満場で祝いの合唱

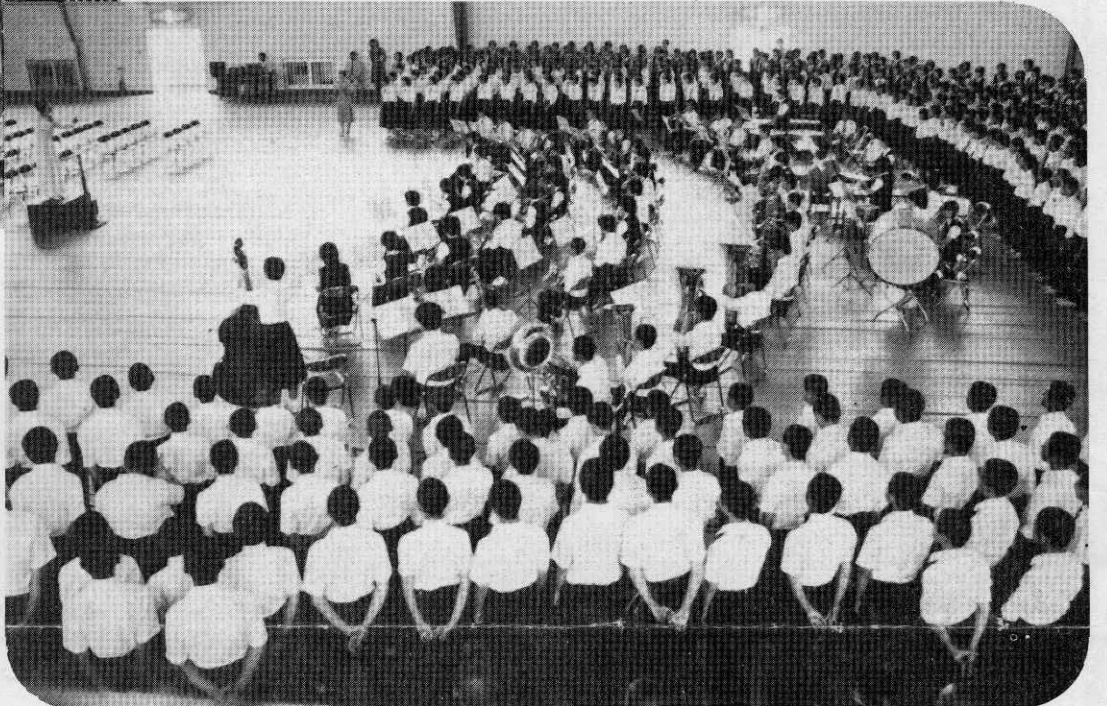


▲新体育館から巣立つ子どもたちが大きくはばたいてほしいという願いをこめてミニバスケットボールに大声援！

三バスケットは
南小学校が優勝
竣工記念行事の幕明けは
町内小・中・高校生七百五十
十名による『大いなる秋田』
の大交響楽。響きわたる吹
奏楽と合唱に、満場が総立
ちになって合唱のうずが参
加。新体育館はあふれるよ
うな歓喜の歌声でつまれ
ました。

続いて行われた町内四小
学校ミニバスケットボール
大会では、児童のはつらつ
としたプレーに観覧席から
大歓声。優勝した南小学校
に畠山健郎杯が贈られまし
た。

国会議員はじめ来賓の皆
様から、すばらしい総合施
設から、さらに町の発展を
と次々にお祝いの言葉。町
づくりへの新たな決意を確
かめ合いました。



▲心をゆり動かす子どもたちの合唱にあわせ
て全員が喜びの歌声。



▲次の人たちに合川町スポーツ賞が贈られた。

▲わがふるさとよ、うるわしのくにに、みのり
ゆたかに、幸福でるくに。高らかな歌
声が会場にしみこむように響く。



- (主な成績・敬称略)
- ▽スキー 全国総体優勝 松橋 江利子(道城・亮悦) △陸上 競技県青年大会八百m優勝 阿部澄子(桃栄・功) 同千五百m二位 鈴木一(福田・富士雄) 県高校駅伝優勝 佐藤博明(川井・昌明)
 - ▽剣道県青年大会準優勝 松橋 久司(大内沢・久郎) 後藤一 義(駅前・一俊) 小笠原 聡(増沢・三四治) 畠山正志(駅前・励子) 工藤聡(上杉・吉三郎) △柔道国体予選優勝 成田和人(駅前・徳郎) △バレーボール県体準優勝 桜田久樹(西根田・久一郎) 吉田明彦(川井・秋雄) △バスケットボール県総体準優勝 坂本剛(三木田・園義) 安藤正弘(三木田・ルエ子)

おしらせコーナー

町のこよみ

- 八 月
 - 28日 A K Tふるさと唄まつり
 - 30日 学童水泳大会
- 九 月
 - 4日 健康まつり
 - 家庭バレーボール・三
 - 六十オソフトボール、
 - ゲートボール大会
 - 11日 中学校バレーボール大
 - 会
 - 13日 町敬老会
 - 17日 親子読書会
 - 18日 こぶき大会
 - 大館北秋民舞発表会
 - (会場 合川町民体育館)
 - 25日 職場対抗バレーボール大
 - 会
 - 十 月
 - 10日 町民テニス大会
 - 16日 町民オリエンテーリング
 - の集い

年金 奥さんも 国民年金へ

サラリーマンの奥さんは国民年金の強制加入からは除かれています。しかし、夫の年金があるからといって安心はできません。国民年金に加入すると、自分の年金がもらえることになり、配偶者の年金には、夫の職場の年金期間と合わせて、受給資格ができる制度があります。役場福祉課に相談し、やがてくる老後にお備えください。

民生委員の 心配ごと相談室

九月二十日午後一時から三時まで、老人憩の家ことぶき荘でお気軽に、何でもご相談ください。

あなたもどうぞ 親子読書会

今回は、手作りの絵本を作るこ

とにしています。世界で一冊しかないあなたと子どもだけの本を作ってみませんか。案外、簡単にできるのです。どうぞ、ご参加下さい。

日時 九月十七日(土) 午後六時半から八時半まで

場所 農村環境改善センター

募集 親子読書 感想文

資格 小学校児童とその父または母 長さ 児童は千六百字、親は二千字以内 送り先 秋田市山王・県児童会館 くわしくはセンター図書係におたずねください。

県の中小企業者 移動相談指導

九月二十二日鷹巣町商工会で、十月五日 北秋田地方部で、時間はいずれも午前十時から午後三時まで、どなたでも利用ください。

▽中小企業者の日本海中部地震災害特別保証制度については、町商工会にご相談ください。

スタンド日曜営業店

九月十八日 米倉石油

山陰豪雨災害 義援金受付

七月二十二、二十三日の島根県・山口県の豪雨被害に対して、義援金を受け付けています。善意は日赤合川町分区分(役場福祉課内)にお寄せください。

小さなあくびが黄信号

▷県内では8月に入り死亡事故が続いています。▷無謀運転とともに被労による事故がふえています。

同乗者の注意とわずかの休憩が命を守ります。

たずねた人



増 沢
小笠原 聡さん



東根田
桜田 槇子さん

役場訪問 何でも聞いてみます

④

保健課の主な仕事

▽健康についての相談・指導
▽保健福祉 ▽各種の検診
▽伝染病や結核の予防 ▽保
健婦の活動 ▽妊婦や乳幼児
の保健 ▽清掃やゴミ処理
▽墓地や火葬場 ▽畜犬の登



保健課長
和田 勇治

答えた人

課長 前回から町民各層が自主的に参加する実行委員会主体の「まつり」にしました。今年九月四日に開くことにしています。ストレス解消コーナーなど十コーナーが二十三実行団体によって運営される計画で、昨年以上の盛り上がりになります。話し合っています。

モニター 保健センターにある体力づくり器具は自由に使えるのでしょうか。

課長 センターの器具は病気の

健康づくりの成果は

あがっていますか

の予防と機能回復が主な目的です。使用器具は開放しています。健康な人が体力づくりするというのが目的です。健康な人が体力づくりするというのが目的です。

モニター 保健センターでは

課長 主に四つあります。一

つは検診や健康相談・健康学習

の仕事、二つめは個人や町全体

の健康についての資料の整理と

保存、三つめはハビリなど病

後対策や病気の予防、四つめは健

康づくり運動にたづさわっている

人の連絡のつけの仕事をしています。

気軽に

保健センターへ

モニター 町民健康広場は、

施設がそろって、さらに保健セ

ンターの利用がふえると思います

が、職員は何人いますか。

課長 保健婦が三名、栄養士

一名、事務員一名の四名が専任で

す。兼任は課長以下三名で、と

くに保健課や団地内の各施設と

充分な連絡が出来るような配

置をしています。

モニター 保健だよりは毎月

必ず読ませていただいています。

健康づくりに参考になることが多

課長 毎月テーマを決めて発

行しています。保健業務のPR

もあり、住民とセンタ

ーを結ぶか橋にしたいもので

すが、公民館だよりと一緒に

早期発見・早期治療の

意識が高まっています

モニター 以前あった母子セ

ンターは、今は無いのでしょうか。

課長 妊婦検診はどうなってい

ますか。

モニター 母子センターは利用者

が少ないこともあって五十五年

度に廃止しました。妊婦や乳児

検診各健康相談などは保健所、

指定の医療機関で行っています。

また充実した指導を行っています。

相談など気軽に保健セン

ターを活用してください。

四十二才の

半数以上が要通院

モニター 最近、若い人があ

たりして、たいへんかわい

そうです。町の病気で一番多い

のはやはり脳卒中ですか。

課長 町の死亡原因で一番多

いのは脳卒中です。次いでガ

ン病、心臓病の順です。全国的にはガ

ン病が最も多いことになっており

ます。本町でも近い将来ガン

がトップになることは間違いあ

りませんので、今からその対策

を考えているところです。

モニター 今、脳卒中予防

が大切な仕事になるわけですね

課長 そうです。脳卒中患者

を減らすこと、具体的にはあ

る「発症する年齢を引き上げる

こと」を課題にしています。全

体的には成果が表れていますが

本町に若い年代で発症する人

がおり残念です。

モニター 若い人の検診はど

うですか。今までの検診結果

を教えてください。

課長 厄年（やくどし）検診

など三十代、四十代の人たちに

も検診を呼びかけています。四

十二才の厄年検診の結果、お医

者さんにかかる必要があると言

われた人が受診者の半分以上で

いわれる働きざかりの層に問題

が大きいことはたいへんな状態

だと指摘されています。

モニター 病気のことは幼児

時代からつくられると聞きます

が、子どもたちの指導はどう

ですか。

課長 学校の養護の先生と保

健婦との連携によって、いろ

ろな指導を行っています。資料

も集めています。子ども自身の

教育を中心に、その成果が家庭

へと伝わるという二重の効果を

期待して活動中です。

安くなった

国民健康保険税

モニター 国民健康保険税が

高いというのを聞きます。よ

くわからないのですが。

課長 国民健康保険税は、そ

の町の医療費を基に、各家庭の

所得などの状況によって税率が

決められるしくみになっています。

五十五年は十二万五千円と

大変高かったのですが、ここ三

年続けて減税しております。今

では他の町村がほとんど上がっ

ておりますから、管内では中位

と下がりました。

モニター 医療費が減ったと

いうことですね。健康づくりの

成果の表れでしょうか。

課長 受診件数は増えていま

すが、一件当たりの医療費が減

っています。医療にはかかるが

重い病気にはならない予防と

早期発見の意識がよい傾向に

なっていると思います。

モニター 国保税の今後の見

通しはどうですか。

課長 医療費は一件で一万

円を超える例もあり、しかも医

療機関が近接しているで予断

を許しません。しかし、現在調

整基金として五千二百万円の積

立があり、今年も増額する予定

ですので、安定した水準を保つ

ことができるという見通してい

ます。

モニター 福祉医療というの

はどういう制度ですか。

課長 乳幼児、重度身体障害

者、母子父子家庭の医療費を県

と町で支払う制度です。

モニター お年寄りの医療費

の負担が問題になったことがあ

りますが、老人保健制度という

のはどういふものですか。

課長 今年の二月から発足し

ましたが、国保や社会保険など

各保険制度から基金を持ち寄っ

て医療と予防活動を行うという

ものです。七十才以上のお年

寄りなどはこの制度で医療を受

けることになりました。一部有

料の負担も増えました。

モニター 老人健康相談とい

うことでたいへん良い方式で検

診が行われているようですが、

難しいといわれていますが、地

域医師会や近接医療機関の協

力で県内でも珍しい合川方式を

あみだして好評でした。医師の

打診を含む検診を集団検診方

式で実施し、しかも精密検診を

組み合わせたものであります。

全部落ではできませんでしたが

今後、拡充に努めたいと考えて

います。

モニター 精神衛生というこ

とも仕事の一つと聞いていま

すが、どんなことがありますか。

課長 精神衛生の幅は広い訳

ですが、複雑な社会を反映して

老人や子どもの情緒不安定が問

題となっています。とくに最近

は、アルコールの相談が相次

いでいます。家族や地域が一体

となって解決すべき課題が多

くなりました。

モニター 保健活動といつて

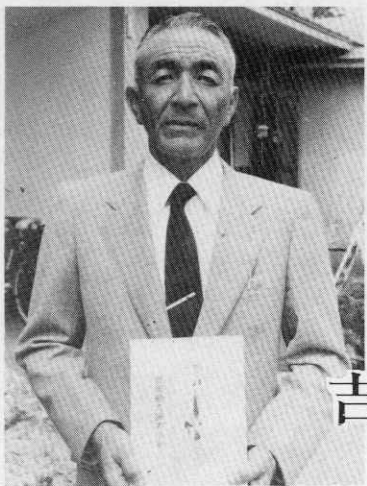
も、本当に幅が広いわけですね

が、老人ボケ、ノイローゼ

など、精神衛生は大きな課題に

なりつつあります。その意味も

あって今年の健康大学は精神衛



わが家の わたしの 宝もの②

吉田勘六家の小史 先祖の歴史を一冊に

川井
吉田忠光さん

昔、吉田村と呼ばれていたという今の京都大学のあるあたり。その西暦1467年の頃から、吉田家の歴史が物語りのように描かれています。「家に言い伝えられていた事がらを覚え書きのつもりで書いていました。お寺の書き物などを見ると、およその年代が合っていたので、本にしてみました。はつきりわからないところが多いので物語りのようにしたわけです。」

小史には京の争乱をのがれて小ヶ田(鷹巣町)に入り、さらに川井に移って現在に至るまでの歴史がまとめられています。「残っている家系は10代ですが22代ぐらいのようです。水害に悩まされあわやひえを大切な食べものにして開墾に苦労した先祖の歴史が忘れられないように参考の一つになればと思います。」

吉田家には1840年の先祖の高野山道中記が書き残されています。「昔の人が書いたものが、私たちの宝ものになっているように、書き残しておけば、あとの人たちのためになるかもしれません。そう思って旅行記録などを書いています。」

吉田家には祖先が小ヶ田に残したという宝物の話も伝わっています。「火事で焼けたけれども地図があったそうで、昭和7年に実際に掘ってみた人がいます。その時は何もでませんでした。本当の夢で、掘ってみる気はありません。」

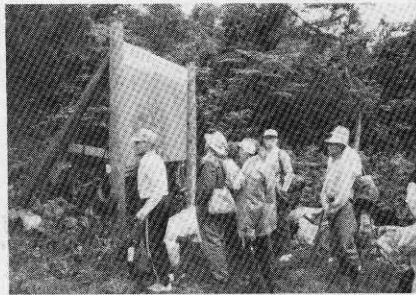
小史は近い親類に配られましたが、思いがけない遠方からも問い合わせがあるといひます。



若々しいリズム、新体育館に、
熱気があふれる

八月十四日、ルネッサンス83と題する東北六校の高校生音楽祭が新町民体育館で開かれまし
た。この音楽祭は「音楽を愛する
高校生の情熱を通じて、社会人
をすすめてきました。」
音楽会には九グループ、百五
十人が出演。激しい音楽やおな
じみのフォークソングなど、若
々しい演奏が続きました。ふる
さと祭りにあわせての開催とな
ってヤングを中心に、入場者は
八百五十人。十三音会では、高
校生の要望も強く「ぜひ定期的
に開催を」と話し合っています。

ルネッサンス83 音楽祭 会場いっぱい若さと歌声



町寿クラブ連合会の白津めぐり
は七月二十六日に行われまし
た。
寿クラブでは昨年まで森吉登
山を行っていましたが、今年か
ら「孫といっしょにふるさとめ
ぐり」と白津登山を企画。
マイクロボス五台に分乗し峰

孫といっしょに 白津登山 寿クラブ二百十人

児童球技大会結果 八月二日

▼野球
準決勝 李倍3-2木戸石
駅前13-13杉山田
(ジャンケンによる)
決勝 勝駅前15-0李倍
▼バレーボール
準決勝 三里2-0木戸石
決勝 李倍3-0三里

疲れもみせずに、ふるさと
めぐり。また来年も。

越林道から頂上にむかいました。
あいにくの曇り空で、視界は羽
根山部落と小阿仁川あたりまで
それでも全員が「登頂」を果た
し、寺屋敷跡、田代湖などを見
ることができました。下山して
「おみき」を上げながら昼食を
とったみなさんは「まだまだ歩
きたりない」と元氣いっぱい

朝も昼も夜も
こうして小さい花を……

私も花

佐藤園子
合川中学校三年

センター図書室では各分野に
幅広く本をそろえています。心
をすなおに表現した詩に共感
し、興味をいだく子どもも多い
ようです。
今回は一冊の詩集と一編の詩
をお届けします。

「詩」と友だちに



29

ふるさと昔話 めぐり⑤

いしづちの赤松

三木川

南小学校の下川ふち
「えびふち」と呼んでいるとこ
ろにたいへん見事な赤松があ
りました。幹は大人二人で手
を回すくらいに太くて、枝ぶ



お話
三浦たみさん

りからなから、それはもう
妖気を感じるほどの美しさで
した。傷をつけると血が出る
という言い伝えで、部落の人
は誰も手をかけませんでした。
松の下に小さな石碑のような
ものがあつたのですが、今は
川に沈んだようです。
昔、ここは見通しのきかな
い気持の悪い道路で、ガン
ド(盗賊)に襲われた人の供
養石だとか、天明のききんの
時、行き倒れになった人たち

紅葉の季節には豊かな
川の流れに赤松の緑が
映えて、絵巻物を見る
ような美しさだったと
伝えられている。

の供養石だとか言われ
ていました。小さい時
子どもたちはどろく
を作るために鎌沢のこ
うじ屋に使いにやらさ
れましたが、赤松の上に「姉
様」がすわっていてつかま
えるというローレライのよう
な話もあって、とてもこわ
いものでした。
松は昭和十八年に、戦争で
船を造るために神官に祈と

善意のご寄付

(敬称略)

〔香典返しに代えて〕
成田順一 増沢(故祖母カウ)
小林儀市郎 道城(故母シモ)
村形彰一郎 八幡信(故母ヒメ)
工藤正三 上 杉(故母キヨ)
藤岡勝蔵 羽立(故母ノブ)
(一般寄付)
合川町チャリティ
カラオケ大会実行委員会

日本海中部地震

義援金等へのお礼

日本海中部地震被害に町対策
本部と南小学校には七月三十一
日まで七百七十一件の義援金、
見舞金が寄せられています。こ
れらの中には秋田県対策本部に
寄せられた義援金の配分、秋田
魁新報社はじめ報道機関の義援
金の配分などがありました。
義援金等につきましては義援
金配分委員会が話し合い、次の
とおり役立たせていただくこと
になりました。
義援金等 三千七百八十五万三
千八百三十三円
慰霊祭費用等支出額 五百三十三万七千二百
円
殉難遺族の方々へ 千三百万円
南小学校へ(教育活動基金・児
童図書購入費、遺影等安置室な
ど校舎改修費、慰霊碑外構工事
費及び除幕式費用等) 一

慶弔だより

7月届

○お誕生おめでとうございます
松岡奈津美 修二女 羽根山
藤島幸輝 一夫長男 木戸石
松村研士 威 長男 駅前
松岡源輝 祐三長男 羽根山
正田奈緒美 昇 長女 上
福田美鈴 昇 長女 川
吉田麻衣子 峰 長女 井
佐藤直子 正 長女 西根田
佐藤亜弥 豊 長女 木戸石
近藤大介 亨 長男 李倍
伊東孝祥 義栄長男 駅前
●謹んでお祝い申し上げます
白渡喜代治 房吉 父 八幡信
小林シモ 儀市郎 母 道城
工藤キヨ 正三 養母 上杉
村形ヒメ 広治 妻 八幡信
金田由二郎 本人 摩当
藤岡ノブ 勝蔵 母 羽立

